

2017

矢切通信

第五話



←まだ枯れ色の江戸川の堤防に、一足早い春が訪れていた。河川敷では人々がゴルフを楽しんでいる。

→暖かな二十九日の江戸川。お客を乗せて今日も舟は行く。

三月なみの暖かい日があったかと思
うと一月なみの寒い日が交互にある。
矢切の春はこうしてやって来るのだろ
うか。去年もそうだったけ……。
いつものように土曜日に矢切の渡し
に下りると舟頭さんが、少し右足をか
ばっているようではあったが、杖もな
く立ち働いていた。

膝関節の手術をして二週間以上が過
ぎて、だいぶ回復に向かっているよう
だ。もとどおりの歩き方にもどるのも
そう遠いことではなさそうだ。

そんなせいではないだろうが、

「大変だよなトランプ大統領……」

よゆうなのか、明けても暮れてもテ
レビで騒いでいるアメリカ大統領に決
まったトランプ氏の話になった。

「選挙前にはいいいたいこといってると
思っていたけど、当選してからもおな
じことをいってるものなあ」

そういう私に、

「だいたい日本人がアメリカの車を買
わないって怒ったってアメ車が日本の
道路を走るには狭すぎるのに、わかっ
てないんだよトランプは」



今週のクマ

→冬はクマも寒いのだろう。土の上に座らずに落ち葉の上で休む。



→ハトが車にはねられて死んでいた。そんなこともあるのだ。ハトにとっては信じられないことだろうが、人間にだって信じられない。



たしかにアメリカの車のような大きな車は日本の道路にはむかない。

「アメリカ人が日本車を買うのは燃費がいいし、性能がいいからだよ。文句をいうんだったら自分のところの車の性能をよくすりやいだよ」

アメリカ大統領の話題で盛り上がっているところにヤッさんがやって来た。

「アメリカも問題だけど韓国もひどいよなあ。対馬の寺から盗んだ仏像を、もとは自分の国でつくられたものなんだから自国のものだって、裁判所が判決をだす。まったく、困った国だよ」

ヤッさんは遠い隣国より近い隣国のほうが気になるようだ。

たしかにヤッさんのいうとおりだ。かに韓国がいいぶんが正しいとしたら、どんどん日本に窃盗団を送り込んで、自国に持ち帰り、これはうちの物だと主張すれば自分のものになる。そんな馬鹿な話はない。まったく、ひどい国だ。

そんな話をしながら、ふと思った。長年、矢切の渡しに通っているが、こんなに外国の話で盛り上がったことはない。

それで地球が狭くなったということなのだろうか。たぶんそうなのだろう。